

内閣総理大臣に関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

1. 内閣総理大臣は、内閣を代表して議案を国会に提出し、一般国務及び外交関係について国会に報告しなければならない。
2. 内閣の首長たる内閣総理大臣は、答弁を求められた場合には議院に出席しなければならないが、国務大臣にはこのような出席義務はない。
3. 内閣総理大臣は国務大臣の訴追に対する同意権を有しており、同意が得られなければ、国務大臣が職を退いた後でも訴追することができない。
4. 行政権は、内閣ではなく内閣総理大臣に属するので、内閣総理大臣は自らが主任の大臣でない場合も法令に連署する必要がある。
5. 衆議院の解散を決定する権限は内閣総理大臣に属するので、解散に反対する国務大臣がいても、内閣総理大臣は単独で、天皇に衆議院を解散するよう助言と承認をすることができる。

権利能力のない社団に関する次の記述のうち妥当なのはどれか。ただし、争いがある場合は判例による。

1. 権利能力のない社団といえるためには、団体としての組織を備え、構成員の変更にもかかわらず団体そのものが存続していれば足り、そこで多数決の原則が行われている必要はない。
2. 権利能力のない社団の財産は構成員に総有的に帰属し、各構成員はその出資額に応じて持分権を有する。
3. 権利能力のない社団は、訴訟当事者となることができず、社団の代表者が訴訟当事者とならざるを得ない。
4. 権利能力のない社団が有する不動産については、社団名義で登記することはできず、社団の代表者名義で登記せざるを得ない。
5. 権利能力のない社団の債権者は、社団の財産のみならず、社団の構成員の個人財産にも強制執行することができる。

価格に関する不確実性に直面している競争的かつ危険中立的企業を考える。この企業の生産物の価格は $\frac{1}{2}$ の確率で50, $\frac{1}{2}$ の確率で30となる。この企業の総費用関数は次のように示されるとする。

$$c(x) = x^2 \quad [c: \text{総費用}, x: \text{生産量}]$$

この企業は価格が実現する前に生産量を決めなければならない。このとき最適な生産量として妥当なのはどれか。

1. 10
2. 15
3. 20
4. 25
5. 30

次の文中のア, イに入るものがいずれも妥当なのはどれか。

マクロ経済モデルが次のように示されるとする。

$$Y = C + I + G \quad [Y: \text{国民所得}, C: \text{消費}, I: \text{投資}, G: \text{政府支出}]$$

$$C = 0.8Y + 5$$

$$I = 60$$

$$G = 25$$

この経済における均衡国民所得は である。この経済で完全雇用が実現した場合の国民所得が520であるとする、政府が政府支出 G を増加させることによって完全雇用を実現するためには、政府支出 G を 増加させる必要がある。

- | | ア | イ |
|----|-----|----|
| 1. | 450 | 12 |
| 2. | 450 | 14 |
| 3. | 450 | 16 |
| 4. | 480 | 8 |
| 5. | 480 | 10 |

ノイマンが提唱した「沈黙のらせん」仮説の説明として妥当なのはどれか。

1. 政党の民主化については、発言力が大きい政党の幹部ではなく、一般党员や党员以外の者が果たす役割が大きい。
2. 人は、ある争点に関して、自分の立場が社会で少数派であると感じると、公の場での意見表明を控えるようになる。
3. 環境問題については、環境保護について積極的な意見を有さない企業の主張が最も尊重されることが多い。
4. 民主主義国での選挙では、サイレントマジョリティが投票しないことにより、事前の世論調査における多数派が敗北することが多い。
5. 小国の国内政治は、当該小国が民主主義国であっても、他国の無言の圧力によって大多数の民意とは異なる政策が行われがちである。